

貨物船ERNA OLDENDORFF 衝突(橋梁)事故 経過報告の概要

発生日時：平成30年10月22日 午前00時27分ごろ
場所：大畠瀬戸（山口県柳井市と周防大島町に架かる大島大橋）

【概要】

- ERNA OLDENDORFF *（総トン数25,431トン、乗組員21人）は、大畠瀬戸を東進中、大島大橋に衝突した。
- 本船のクレーン及びマストが損傷、大島大橋に設置されていた送水管が破断し、周防大島町のほぼ全域に1か月を超える断水が生じた。

* 船籍: マルタ共和国、船長及び航海士: インドネシア共和国籍、船舶所有者の所在地: ドイツ連邦共和国



これまでの調査により確認された事実情報（乗組員の口述）

航海士が電子海図情報表示装置（ECDIS※）を使用して航海計画を作成（目的地の江田島に最短経路となる計画とした）

10月20日

船長が航海計画を確認し、署名

21日 07時ごろ 温山港（韓国）を出航

21日 午後

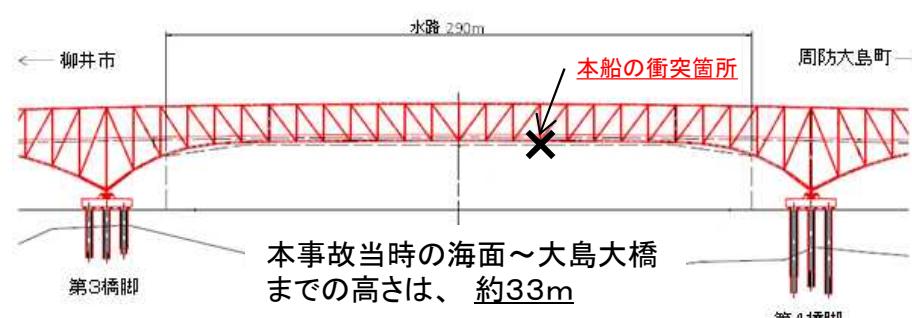
船長と航海士が航海計画を再度確認

22日 00時少し前（事故の約30分前）

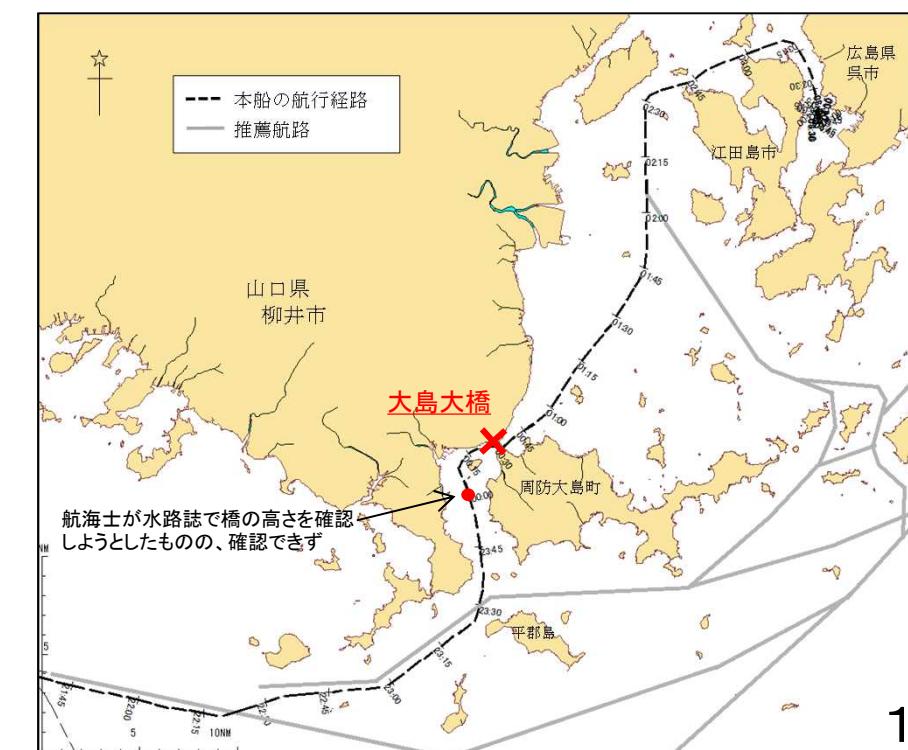
船長が、大島大橋の高さに不安を感じ始め、航海士に高さを調べるよう指示
航海士が、水路誌を用いて橋の高さを確認しようとしたものの、確認できず

22日 00時27分ごろ 大島大橋に衝突

（船長は10月16日、航海士は7月22日から、それぞれ本船に乗船しており、また、両人共に大畠瀬戸を航行するのは今回が初めてであった。）

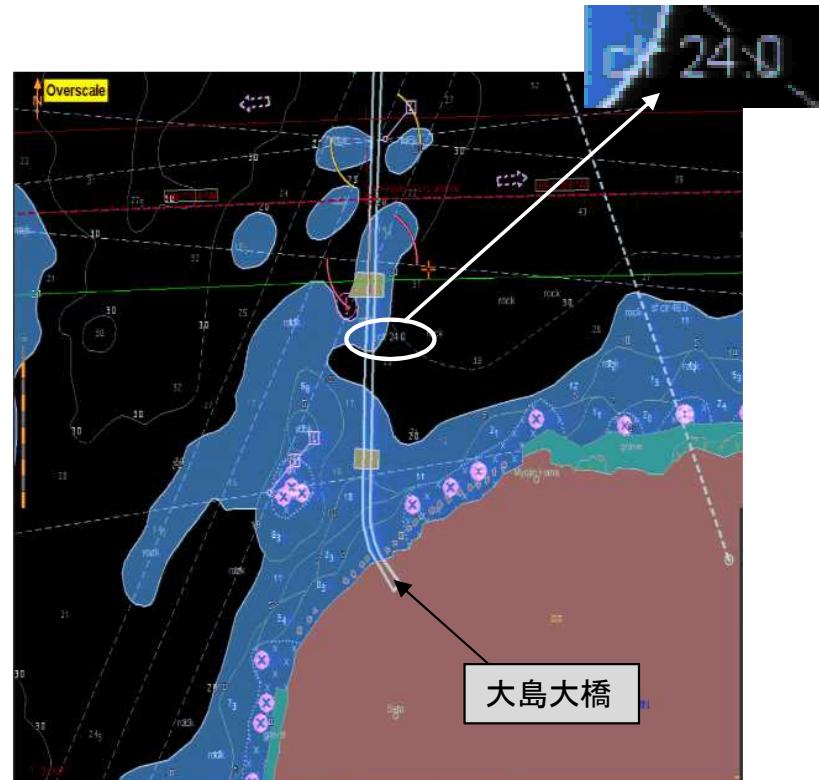
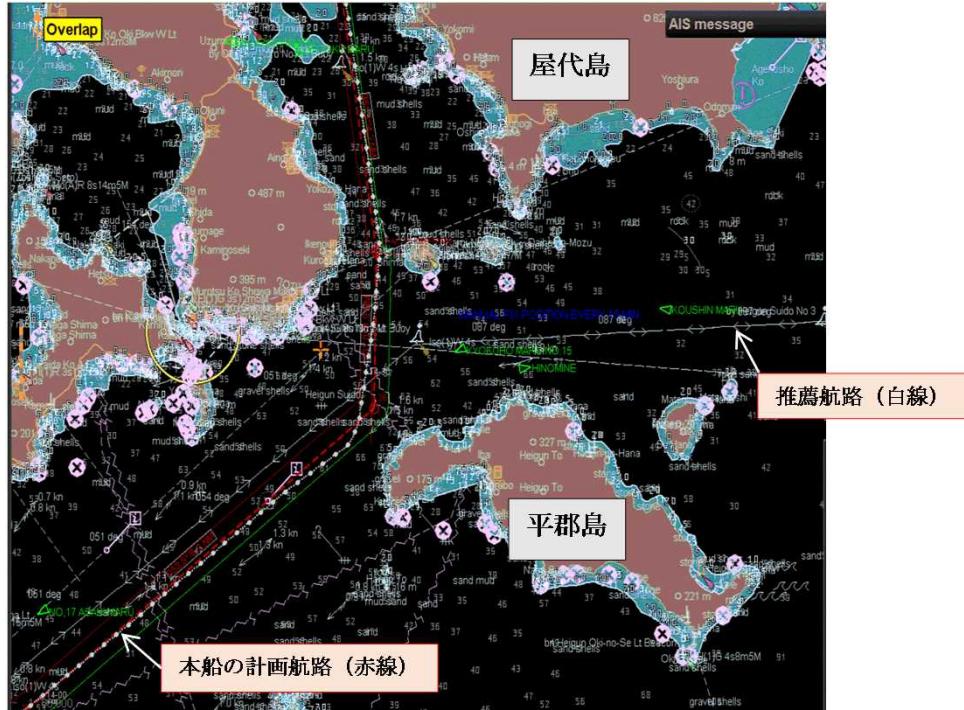


本事故当時の海面～大島大橋までの高さは、約33m



これまでの調査により確認された事実情報（口述以外の情報）

- 本船の航海情報記録装置（VDR）に記録されていたECDISの画像には、推薦航路の表示があり、また、大島大橋の高さが24mと表示されていた。



- 航海士が使用した水路誌には、索引から「大島大橋（Oshima Bridge）」に関する情報が掲載された項目を参照すると、その項目には同橋の高さに関する記載がなく、大畠瀬戸の一般情報に関する項目の一部として同橋の高さが24mと記載されていた。